

機能性・物性マーク一覧

商品の機能・物性・加工等については、下記マークで表示しています。



消防法施行規則に基づく防炎性能試験に適合することを示す(一社)日本インテリア協会(NIF)基準のマークです。



洗濯等で汚れが落ちやすく、更に洗濯時の逆汚染による黒ずみを防止する加工を施した商品に表示しているマークです。



家庭用洗濯機で洗濯できることを示す(一社)日本インテリア協会(NIF)基準のマークです。



サンゲツカーテン・エコプロジェクトにおけるリサイクル区分のマークです。回収したカーテンを再資源化することが可能な商品に表示しています。



遮光性能(1~3級)を有することを示す(一社)日本インテリア協会(NIF)基準のマークです。



レースの掲載商品において外から室内が見えにくい度合いを見えにくい方からA+、A、B、Cの4段階に分類し、表示しています。

見えにくさ (例:Aの場合)
C B A A+



一般的なレースに比べて日射熱による室内温度の上昇を抑制することを示す(一社)日本インテリア協会(NIF)基準のマークです。



レースの掲載商品において耐光堅牢度が7級または7級以上の商品に表示しています。一般的なカーテンに比べて光による退色が少ない商品です。



紫外線(UV)を70%以上カットし、室内での日焼けを軽減することを示す(一社)日本インテリア協会(NIF)基準のマークです。



インテリアファブリックス性能評価協会の自主基準に基づいた、ホルムアルデヒド対策品として認定された商品です。



裏面にブライト糸などを編み込み光を反射することで、日中お部屋のプライバシーを守る効果があることを示すマークです。

機能性マークについて



防災性能・防災物品ラベルについて

消防法施行規則に基づく防災性能試験に合格し、防災性能を有することを示すマークです。

防災物品ラベルは洗濯によってその性能がどのように変化するかを基準に6種類に分けられます。

防災商品は決められた試験方法により防災性能を有することを確認されたものであり、燃えないものではありません。火気には絶対に近づけないでください。

防災物品の種類	1.カーテン 暗幕					
	水洗い洗濯及びドライクリーニングについて基準に適合するもの	水洗い洗濯について基準に適合するもの	ドライクリーニングについて基準に適合するもの	洗濯後は再防災処理の必要があるもの	洗濯後再防災処理したもの	
物品ラベルの様式	 (イ)縫付	 (ロ)縫付	 (ハ)縫付	 (ニ)ちょう付	 (ホ)ちょう付	 (ハ)ちょう付

※防災物品ラベルは、「防災表示認定業者」の資格を消防署へ申請し認定を受けた防災表示認定業者でなければ取り扱うことはできません。認定を受けると申請によって防災物品ラベルの交付を受けることができます。
 ※防災品については、その対象物品ごとに、防災物品ラベルを縫付、ちょう付などで見やすい箇所に取り付けることになっています。

消防法の規制を受ける防災防火対象物 (特定防火対象物 抜粋版)

- 消防法第8条の3第1項より、防災物品を使用しなければならない場所 高層建築物(高さ31mを超える建築物)、地下街
- 政令で指定されたもの(消防法施行令別表 第1より)

2021年9月現在

(1) イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 ロ 公会堂又は集会場	(6) 又は同法第5条第8項に規定する短期入所若しくは同条第15項に規定する共同生活援助を行う施設(避難が困難な障害者等を主として入所させるものに限る。ハ(5)において「短期入所等施設」という。) ハ 次に掲げる防火対象物 (1)老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム(ロ(1)に掲げるものを除く。)、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム(ロ(1)に掲げるものを除く。)、老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う施設、同条第5項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設(ロ(1)に掲げるものを除く。) (2)更生施設 (3)助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の3第7項に規定する一時預かり事業又は同条第9項に規定する家庭的保育事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (4)児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設又は児童福祉法第6条の2の2第2項に規定する児童発達支援若しくは同条第4項に規定する放課後等デイサービスを行う施設(児童発達支援センターを除く。) (5)身体障害者福祉センター、障害者支援施設(ロ(5)に掲げるものを除く。)、地域活動支援センター、福祉ホーム又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項に規定する生活介護、同条第8項に規定する短期入所、同条第12項に規定する自立訓練、同条第13項に規定する就労移行支援、同条第14項に規定する就労継続支援若しくは同条第15項に規定する共同生活援助を行う施設(短期入所等施設を除く。) ニ 幼稚園又は特別支援学校
(2) イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの ロ 遊技場又はダンスホール ハ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗(二並びに(1)項イ、(4)項、(5)項イ及び(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているものを除く。) ニ カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室(これに類する施設を含む。)において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの	
(3) イ 待合、料理店その他これらに類するもの ロ 飲食店	(9) イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの (12) ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ
(4) 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	
(5) イ 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	(16) 複合用途防火対象物で、(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項、(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されている部分 (16)の3) 建築物の地階(16の2)項に掲げるものを各階を除く。)で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの((1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。)
(6) イ 病院、診療所又は助産所 ロ 次に掲げる防火対象物 (1)老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(介護保険法(平成9年法律第123号)第7条第1項に規定する要介護状態区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者(以下「避難が困難な要介護者」という。))を主として入居させるものに限る。)、有料老人ホーム(避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る。)、介護老人保健施設、老人福祉法(昭和38年法律第133号)第5条の2第4項に規定する老人短期入所事業を行う施設、同条第5項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設(避難が困難な要介護者を主として宿泊させるものに限る。)、同条第6項に規定する認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (2)救護施設 (3)乳児院 (4)障害児入所施設 (5)障害者支援施設(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)第4条第1項に規定する障害者又は同条第2項に規定する障害児であって、同条第4項に規定する障害支援区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者(以下「避難が困難な障害者等」という。))を主として入所させるものに限る。)	

※上記の表は防災防火対象物の特定防火対象物 抜粋版です。詳しくは、消防法施行令別表第1をご参照ください。



ウォッシュブルについて

(一社)日本インテリア協会(NIF)の基準を満たす、家庭用洗濯機で洗濯できることを示すマークです。

試験方法：JIS-L 1930 C4M法 吊干し繰り返し洗濯3回後の変化
 基準値：寸法変化率 $\pm 1\%$ 以内・ヨコ $\pm 2\%$ 以内 外観が良好であること
 試験方法：JIS-L 0844 A-2号
 基準値：変退色4級以上 汚染4級以上

カーテンの寸法変化率 測定方法について

ドレープ・レース全規格について、水洗い・ドライ洗濯時の寸法変化の試験を実施し、表示しています。各頁表記の+は伸び、-は縮みを表します。

$$\text{寸法変化率(\%)} = \frac{l_1 - l_0}{l_0} \times 100 \quad \begin{array}{l} l_0: \text{洗濯前} \\ l_1: \text{洗濯後} \end{array}$$

(マイナスは収縮を示し、プラスは伸びを示します。)

尚、各数値結果については上記条件下に基づくもので、製造ロット・製品の使用条件等によって変わることがあります。また、記載数値は測定値であり、保証値ではありません。

水洗いの場合



洗剤：合成洗剤(弱アルカリ性)
 洗濯方法：家庭用洗濯機で約40°Cのぬるま湯で洗濯します。
 洗濯、吊干し乾燥を3回繰り返し、寸法の変化を測定します。
 (JIS-L 1930 C4M法準拠)

ドライの場合



洗剤：パークロロエチレン使用(チャージソープ0.3%含む)
 洗濯方法：常温で予備洗1分、本洗2分行い、70°Cで7分乾燥を1回後、寸法の変化を測定します。
 ※ドライはウォッシュブルマーク対象外のため、水洗いに準じた耐洗濯性基準を適応しております。

洗濯表示の説明 日本産業規格に基づいた各々の表示とその説明

洗濯表示の説明	洗濯処理		液温は、40°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。		液温は、30°Cを限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる。	
			液温は、40°Cを限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。		洗濯処理はできない。	
	漂白処理		塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。		漂白処理はできない。	
			底面温度200°Cを限度として、アイロン仕上げ処理ができる。		底面温度110°Cを限度として、スチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。	
	アイロン仕上げ処理		底面温度150°Cを限度として、アイロン仕上げ処理ができる。		アイロン仕上げ処理はできない。	
			日陰でのつり干し乾燥がよい。			
	ウエットクリーニング処理		ウエットクリーニング処理ができる。通常の処理			
	ドライクリーニング処理		パークロロエチレン及び記号Ⓟの欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理ができる。弱い処理		ドライクリーニング処理ができない。	
			石油系溶剤(蒸留温度150°C~210°C、引火点38°C~)でのドライクリーニング処理ができる。弱い処理			
	タンブル乾燥処理		洗濯後のタンブル乾燥はできない。			
付記用語	洗濯用ネット使用/あて布使用					

※上表は「JIS L 0001の洗濯表示記号」(2016.12月改訂)における、サンゲツカーテン該当分を抜粋したものです。



F☆☆☆☆について

インテリアファブリックス性能評価協議会の自主基準に基づいた、ホルムアルデヒド対策品として認定された商品です。

※当見本帳掲載生地は全点F☆☆☆☆認定品です。

ホルムアルデヒド放散区分

区分	ホルムアルデヒド放散速度
F☆☆☆☆	5 $\mu\text{g}/\text{m}^3\text{h}$ 以下
F☆☆☆	~ 20 $\mu\text{g}/\text{m}^3\text{h}$ 以下
F☆☆	~ 120 $\mu\text{g}/\text{m}^3\text{h}$ 以下

機能性マークについて



遮光性

NIF基準の遮光性能を有することを示すマークです。

(一社)日本インテリア協会(NIF)が定める基準に基づき、遮光率99.40%以上の遮光性能を有するカーテンに対して、遮光性能の高い順に遮光1級・2級・3級と表示しています。遮光1級については、更にNIF法に基づき5段階に分類し表記しています。

《遮光等級について》

遮光等級	遮光率 (%) (JIS-L 1055 A法)	照度に関する状態表現
遮光1級	100.00~99.99	人の顔の表情が識別できないレベル
遮光2級	99.98~99.80	人の顔あるいは表情がわかるレベル
遮光3級	99.79~99.40	人の表情はわかるが事務作業には暗いレベル

※遮光1級生地でも縫製方法や、レールの取付け方によって窓枠とカーテンの隙間から光が漏れることがあります。

■ 遮光1級カーテンを更に5段階に分類

表記	目視度合 (イメージ)	状態説明
遮光1級 (A++)		生地からほとんど光を感じません。
遮光1級 (A+)		生地からわずかに光を感じます。
遮光1級 (A)		生地から光を感じるが、生地の織組織や色は分かりません。
遮光1級 (B)		生地から光を感じ、生地の織組織や色も分かります。
遮光1級 (C)		生地全体は薄明るく見えるが、人の表情が識別できない暗さです。

遮光カーテンの遮光性評価方法 NIF法(特許 第5437308号)

遮光率99.99%以上の遮光1級は「人の表情が識別できないレベル」の暗さを担保していますが、人の視覚は非常に敏感で、かすかな光も捉えることができるためNIFではNIF法(特許第5437308号)に基づき遮光1級を更に5段階に分類し表記しております。

※NIFは(一社)日本インテリア協会の略称です。

NIF法(特許 第5437308号)

暗室内の電照パネル上に遮光1級のカーテン等の試験体をかざし、全体的な光の透過の見え方、光漏れの有無や多寡を目視で判定し、光を遮蔽する度合により区分します。

昼環境における室内の明るさイメージ

遮光1級 遮光率100.00~99.99%



遮光2級 遮光率99.98~99.80%



遮光3級 遮光率99.79~99.40%



非遮光



※明るさのイメージや目安であり、カーテン品番や縫製スタイル、天候などによって実際の見え方と必ずしも一致するものではありません。

レースの遮像性・機能性マークについて

レースの遮像性 自社基準により、レース越しに見た室内の見えにくさ(遮像性)を4段階に分類し表示しています。

試験方法(自社基準)

昼環境を再現した窓まわりにてレースの生地越しに屋外から見た室内の見えにくさ(遮像性)を目視判定し、Class A・B・Cの3段階に分類する。Class Aランクのレースにおいては、夜環境を再現した窓まわりにて再度遮像性の目視判定を実施。その内、夜も見えにくいレースはClass A+とし、下図の4段階に分類する。

見えにくい ←		→ 見えやすい	
Class A+ ☀️🌙	Class A ☀️	Class B ☀️	Class C ☀️
			
昼環境において、Class A同等の見え方。夜環境も見えにくい。	昼環境において、室内にある物がほとんど見えない。	昼環境において、室内にある物がぼんやり見える。	昼環境において、室内にある物が見える。

※見え方のイメージは、弊社試験基準に基づく目安であり、レース品番や天候、室内照明によって実際の見え方と必ずしも一致するものではありません。



遮熱レースについて

(一社)日本インテリア協会(NIF)の基準を満たす、遮熱性能があることを示すマークです。

遮熱レースとは、シアーカーテン・レースの内下記に定める基準に適合し、室内温度の上昇を抑制すると共に日中室内に適度な明るさを採り入れ、一般のシアーカーテン・レースと比較して節電対策上の相対的効果が認められる商品です。

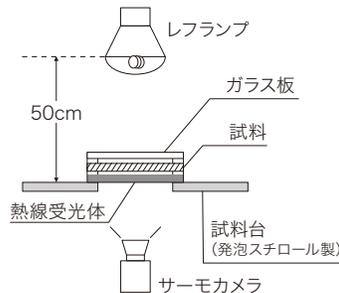
試験方法及び判定基準

判定基準

遮熱率25%以上(小数点第1位四捨五入)
採光率0.6%以上(遮光率99.4%未満)

試験方法:カケンレフランプ法(インテリア法)

熱線受光体(黒色塗料塗付銅板を設置)の約5mm上に試料を保持し、更にその上約5mmにガラス板を設置し試験体とする。指定側面からランプを約50cmの距離で15分間照射して、裏面の熱線受光体の表面温度をサーモカメラを用いて経時的に測定する。ブランクとして試料なしの試験体を対角線上に設置し、同時に測定を行い遮熱率を算出する。試験は試験体とブランクの位置を入れ替えて2回測定し、平均値を試験結果とする。



試験装置略図

使用ランプ:レフランプ 500W
照射距離:約50cm
照射面:裏面(屋外側面)

遮熱率(%)=

$$\frac{(\text{ブランクの上昇温度} - \text{試料の上昇温度})}{\text{ブランクの上昇温度}} \times 100$$

※照射時間 15分

レースの機能性マークについて



紫外線遮蔽 (UVカット) について

(一社)日本インテリア協会(NIF)の基準を満たす、UVカット性能があることを示すマークです。

紫外線(地表に到達するUVA、UVBに該当)を70%以上カットするシアーカーテン・レースです。

なお、一般的に吊り元をフラットで使用するよりもヒダを寄せることで、繊維間を光が屈折・反射し遮蔽効果が高まるといわれています。

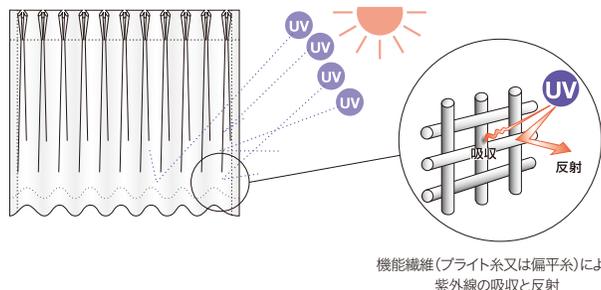
試験方法及び判定基準

紫外線カット素材の加工効果統一評価法(日本化学繊維協会)による分光光度計・全波長域平均法波長280~400nmの紫外線(UVA、UVBに該当)をどれだけ遮蔽しているかを「紫外線遮蔽率%」で表す。

※1ナノメートル(nm)=10億分の1m

判定基準：紫外線遮蔽率70%以上

紫外線遮蔽 (UVカット) のメカニズム



ミラー調レースについて

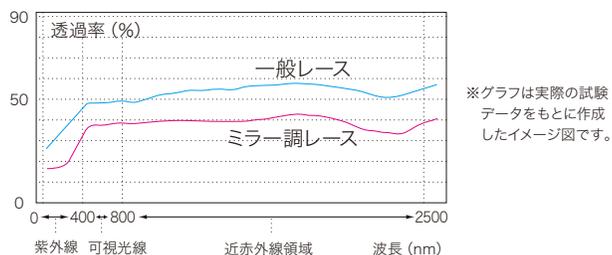
鏡のように光を反射するミラー効果があることを示すマークです。

裏面にブライト糸を編み込み、光を反射することでミラー効果を持たせたシアーカーテン・レースです。

光を採り入れながら日中外部からの視線を遮り、プライバシーを守ります。

- 紫外線、可視光線、赤外線等の太陽光線を、一般レースに比べ10~20%多く遮ります。波長の短い光線(UV)に対し、より高い効果が認められます。
- 昼間、外部からの視界はほとんど認められません。
- ご家庭での省エネルギー対策として、家具、畳等の日焼けの軽減として、またプライバシーの保護等に効果があります。

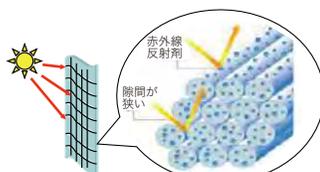
分光光度計による太陽光線透過率比較試験(当社比)



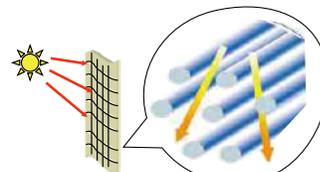
涼しや SUZUHIYA 室内温度の上昇を抑える遮熱効果があります。

『涼しや[®]』は、人体に影響のない特殊な金属酸化物を封入したポリエステル繊維です。金属酸化物により、太陽の熱を反射し、室内温度の上昇を抑える遮熱効果があります。

※『涼しや[®]』は帝人フロンティア株式会社の登録商標です。



涼しや[®]のイメージ図



普通ポリエステルのイメージ図